

2013年

5
月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

仁科俊夫

〈編集人・総務委員長〉

井上宣雄

—今月号の主な内容—

平成25年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会 ……2	第55回埼玉県めっき技術競技会 ……6
退任の挨拶 副理事長 石下一明 ……3	彩の国ビジネスアリーナ2013 ……9
平成25年全鍍連賀詞交歓会 ……4	挨拶 埼玉鍍金会会長 渡辺順一 ……10
埼玉鍍金会新春賀詞交歓会 ……5	

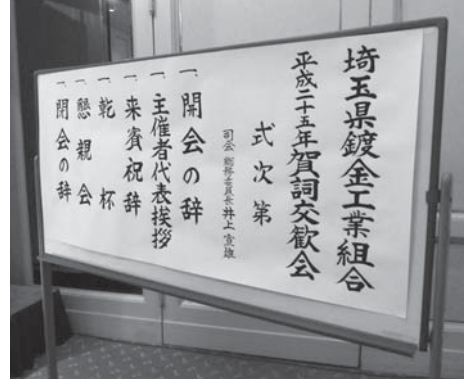


146号



平成25年5月21日

平成25年 埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会開催



埼玉県鍍金工業組合（仁科俊夫理事長）は、平成25年1月24日（木）午後5時よりパレスホテル大宮（さいたま市）にて、平成25年賀詞交歓会を大勢の来賓、会員の出席のなか開催された。

はじめに、井上宣雄総務委員長司会のもと、石下一明副理事長の「本年は蛇年、厳しい環境を蛇にちなみまして脱皮をして良い年を

迎えたいと思います。」との開会の辞の次に、仁科俊夫理事長より新年の挨拶がありました。

「今年も宜しく御願います。」の言葉から始まり「私もいろいろな意味で今年は、脱皮しなければいけない年だと思えます。アベノミクスの効果があると思えますが、少子高齢化に向かって世界が初めて経験する形なのでどれが正しい

のか分かりません。短期的かも知れませんが円安ドル高なのは間違いありません、このまま続いてくれば良いと思えます。

我々組合も発展できる環境を作らねばいけないと思い、4年前からいろいろ脱皮しております。皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しく御願致します。」と閉めた。

続いて来賓の祝辞を埼玉県知事

上田清司氏 代理の産業労働部副部長 立川吉朗氏より知事祝辞を代読、次に衆議院議員 枝野幸男氏、衆議院議員 武正公一氏、埼玉県議会議員 奥ノ木信夫氏、さいたま市議会議員 阪本克己氏、全国鍍金工業組合連合会会長 伊藤豪氏より祝辞を頂きました。その後、神奈川県鍍金工業組合理事長 栗原敏朗氏の乾杯のご



発声により歓談がスタートした。

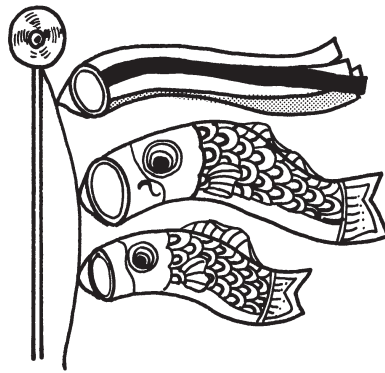
今年も昨年同様にジャズバンドの生演奏と女性ボーカルの歌をBGMに、場が盛り上がり和やかな雰囲気です。歓談が終わり、中締めを小林満副理事長がライト兄弟を例に取り「空を見て、飛びたいと考えていた人は大勢いたが、飛ぼうと思ったのは、ライト兄弟が始めてだろう。儲けたいでは無く儲

(3)



けるんだ、仕事をいっぱいしたい
では無くするんだ、と言う思いで
1年過ぎて生きたいと思えます。
今年もご指導ご鞭撻宜しく御願
致します。」と3本で閉めた後、
本締めを東京都鍍金工業組合理事
長 八幡順一氏が「いっぱい儲け
て元気良くお金を使い日本の国が
活性するように」と言う言葉でさ
らに3本で威勢よく閉めて、25年
度埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会
が閉会した。

総務委員



退任の挨拶

副理事長 石下一明



ず、我々鍍金業界も苦しい事業経
営と新しい環境規制等、先の見え
ない中での努力、精進がもとめら
れております。

私はここで退任を致しますが、
これからはいち組合員として仕事
に、組合活動にもかかわって頑
張って行きたいと思えますので、
今後とも宜しくお願い致します。

これからも埼玉県鍍金工業組合
の益々の発展と各組合員企業の御
繁栄を心りお祈り致しまして、退
任の御挨拶とさせて頂きます。

2年間お世話になりました。
2期目の仁科理事長より副理事
との御指名を頂き2年、理事長始
め組合員皆様のお役に立てたのか
疑問の残る所ですが、皆様の御支
援と御協力の御蔭を持ちまして、
大役をなんとか務められました事
にあらためて感謝とお礼を申し上
げます。

震災による復興もまだまだ進ま

平成24年5月21日

全鍍連 賀詞交歓会を開催



平成25年度新春賀詞交歓会が去る1月25日東京都港区の機械振興会館で開催された。

山田総務副委員長の司会のもと栗原副会長の蛇年にちなむ縁起の良い開会の挨拶の後、伊藤会長が主催者挨拶をされた。まず来賓の参列に対し感謝を申し述べた後、昨年一年の分析と今後の取り組みを語った。

昨年は8月以降日本経済は沈滞したままで、総選挙後多少持ち直しを見せているが、依然厳しい状況が続いている。

昨年全鍍連で取りまとめためつき業ビジョン2012を参照してほしい。めつきは業種としての優位性は大きく、それを生かして今後のどのように行動すべきか検討



をして、企業発展の一助になればその意義は大きいと述べた。

この一年がこの業界にとつて飛躍の年となり、また日本の製造業の再生の年と成るよう一同団結して臨もうと結んだ。

引き続き来賓を代表して経済産業省製造産業局非鉄金属課課長及川 洋様が、産業界は製造業の復活を目指し中小企業対策を優先して充実をさせる。今後様々な実施するがそれを活用して活力を取り戻そう。全力でサポートするので良い一年と成るよう元気にスタートをしようと、力強く祝辞を述べられた。

その後、関連団体の来賓の皆様への挨拶に引き続き、島村周作名誉顧問の乾杯の音頭で懇親会へと進んだ。



大変明るく、なごやかな雰囲気の中で今年一年が良い年になりそうな期待を抱かせる賀詞交歓会であった。

副理事長 小林 満

埼玉鍍会 平成25年度新春賀詞交歓会



去る2月8日、さいたま市大宮区の割烹旅館新道山家にて、埼玉県鍍金工業組合青年部、埼玉鍍会の新春賀詞交歓会が、次代を担う若人らしく盛大に催されました。

現在の埼玉鍍会は、時勢に逆らうかのように、会員拡大を重ね歴代最大規模の会員数を誇り、全国的に注目と期待を集める団体となっております。近年は、他県団体と

の交流の場として、近県青年部をお招きしており、他県団体より新年会への参加のオファーも頂いておりましたが、埼玉鍍会本来の趣旨を鑑み、本年は埼玉鍍会の会員相互の理解と交流を深める場として厳かに開催致しました。



しかしながら、組合より仁科理事長はじめ、先輩諸兄の御臨席を賜る事で、会場広間も満席の盛況となり、新年に相応しく、有意義な時間を持つ事ができました。

決して潤沢な経済状況ではない昨今ではありますが、埼玉・埼玉鍍会に於いては、若さと情熱があふれ、今後のめつき業界に光明が挿すかのような明るさがあり、親組合さえも羨ましがするほどの未来が感じられる、暗い話題の多いこの時代に、前向きで、活発なともすばらしい団体と自負できる、そんな新年会となりました。

本年は、初の試みとして、ビンゴ大会も開催し、一層の盛り上がりもあり、活況のうちに二時間を過ぎることができました。

改めて、会員の皆様のご賛同に



感謝致します。

二次会は、会場手配に不手際もあり、途中会場の変更等、ハプニングもありましたが、活況のうちにすぎす事ができました。

本年も、渡辺会長をはじめとし、埼玉鍍会は元気ががんばっていきまので、宜しくお願い致します。

埼玉鍍会 小林直樹

平成24年度(第55回)埼玉県めつき技術競技会並びに排水管理優良事業所表彰式及び講演会 平成25年1月30日(金)「さいたまスーパアリーナ・TOORO」

埼玉県では他県に例のない独自の観点で、めつき技術競技会は55回を重ね長い歴史と、排水管理においても数々の公害問題をクリアしてきた歴史は、我々の先人が苦勞をして積み上げてきためつき業界の歴史そのものと感じています。この歴史ある表彰式を通じて我々めつき業の活動をより多くの方々に知っていただき、「埼玉県めつき」というジャンルがより強いものとなることを期待しています。

埼玉県では他県に例のない独自の技術競技会に入賞されました事業所様と排水管理優良事業所として表彰されました事業所様にはお祝いを申し上げますと共に、開催するにあたり多大なるご協力をいただきました埼玉県の各部に関係の方々、ご参加下さった全ての事業所様へ御礼を申し上げます。

〓表彰式〓

始めに仁科理事長からの挨拶があり、政権が交代して明るいニュースが多いと業界も含めた希望を感じることができそうだとの話から、講演会(事前に皆様へご案内を差し上げたビジネスアリーナ企画の講演会)の内容に触れ、女子サッカー「なでしこジャパ



加したように「守りではなく、攻めの姿勢」で、生産を海外へという流れの中でもしつかりと事業を行って参りたいが、今回の表彰に現れる「技術と環境」はめつき業界において中核であるため大切に守り、高めていく必要があると業界を盛り上げる挨拶をされました。

○埼玉県めつき技術競技会 表彰

例年のように4部門において、厳正な審査を経た受賞者が「埼玉県知事賞」から順次発表・表彰されました。今回の審査では、組合の技術委員会の皆様にも技術者としての意見をもらうこととして外観の審査に加わっていただいた。

「佐々木監督の「成功の反対の言葉は失敗ではなく、チャレンジしないこと」を紹介し、我々の組合も前に進む企業・チャレンジする企業の集まりとしたい。同会場で行われている「彩の国ビジネスアリーナ2013」に今年度も参

今までの3人の審査員に2名の技術委員を加えたことで更に細かい点や実際に現場で起こりえる事象や問題点などを考察する場面で力を発揮していただいた。なお、各賞の受賞者は別表をご覧ください。

○埼玉県めつき技術競技会 講評

審査員を代表して東京都市大学 名誉教授 工学博士 星野重夫先生からは、「装飾用クロム、工業



用クロムは共に膜厚での採点で差がつき、亜鉛、バレル亜鉛は耐食性試験の良し悪しが順位に結びついたと考えられます。それぞれに難しい項目で点数に差がついたことと考えられるが、亜鉛に関して3価クロメートの安定的な扱いを今回の結果で見直していただく必要がある作品もありました。全体的には平均点も高いようであるが、上位との差がつかってしまった作品はおそらく社員さんに指導をあまりせずにまかせている物と見受けられますので、結果の点数を確認して各社の指導者は技術の向上に努めて指導をお願いしたい。他県では行っていないメッキの競技会ですので是非多くの企業さんに参加をしてほしいと考えます。」のご意見・ご指摘をいただきました。



○排水管理優良事業所 表彰

11年連続での「埼玉県知事感謝状」に株式会社島崎鍍金（第2支部）が贈呈された後、各賞がそれぞれ発表され、平成24年度に排水優良事業所とされた事業所にプレートが授与されました。

今年度は水質汚濁防止法が改正されたことで、環境面に対する強化を痛烈に感じた年であり、業界としても新たなスタートを切らなければならぬ年となります。排

水の管理はもちろんのこと通常の営業を行ううえでの液管理の徹底を点検チェックシートの作成により「無事故・無違反の埼玉」として認識されますようご努力・ご協力のほどお願い申し上げます。なお、各賞の受賞者は別表をご覧ください。

今後も幅広く多くの方々に、我々の組合事業を知っていただき各事業所様の広報活動の一環としての一助ができれば幸いと感謝しております。来期の技術競技会の多くの参加を募ると共に、排水事故が全ての事業所様で達成できるとを祈念いたしております。

平成24年度(第55回)埼玉県めっき技術競技会審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部
埼玉県知事賞		(有)小林鍍金工業 川口市領家5-13-22	(株)大宮鍍金工業 さいたま市北区日進町1-188 濱松 宏幸	吉野電化工業(株) 越谷市越ヶ谷5-1-19	(有)高松鍍金工業所 北本市中央2-47
埼玉県産業労働部長賞		(株)甲斐野テックス 川越市志多町17-14	押尾化学工業(有) 秩父市みどりが丘150-15 みどりが丘工業団地	新硬クローム工業(株) 川口市南鳩ヶ谷3-18-18	押尾化学工業(有) 秩父市みどりが丘150-15 みどりが丘工業団地
埼玉県産業技術総合センター長賞		小松原鍍金工場 熊谷市銀座3-112 小松原 秀元	(有)池澤鍍金工業所 草加市吉町4-1-27 中村 大介	川口ハードクロム工業(有) 川口市弥平1-18-1	カツデン(株) 草加市稲荷2-3-1
埼玉県中小企業団体中央会長賞		(有)今井メッキ工業所 三郷市新和1-187-1 今井 昭雄	(株)サン化学 熊谷市石原1721	(株)精硬クローム工業 川口市東領家4-18-10	(有)小築鍍金工業所 さいたま市岩槻区上野6-11-8
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(株)真工社 戸田市美女木東2-2-6	吉野電化工業(株) 越谷市越ヶ谷5-1-19	(株)オーク埼玉工場C 本庄市児玉町宮内838-5 三根 聡史	(株)大倉 吉川市平沼1-5-10
フジサンケイ ビジネスアイ賞		(有)渡辺鍍金工業所A 戸田市笹目7-12-7 澤畑 真樹	(有)阪本鍍金 さいたま市南区太田窪4-4-3	(株)ミドリ技研 戸田市笹目南町5-3 緑川 健雄	(株)小林鍍金工業 さいたま市中央区下落合1087
産業通信社賞			(有)小築鍍金工業所 さいたま市岩槻区上野6-11-8		

平成24年度排水管理優良事業所
平成23年10月～平成24年9月

表彰事業所

埼玉県知事感謝状	(株)島崎鍍金	11年連続	第2支部
埼玉県鍍金工業組合理事長表彰	吉野電化工業(株) 第2工場	3年連続	第5支部
〃	(有)ケーエムケー	3年連続	第6支部
〃	新硬クローム工業(株)	3年連続	第7支部
〃	(株)ダイエイバレル	3年連続	第7支部

連続年数	支 部	プレート授受事業所	連続年数	支 部	プレート授受事業所
2年連続	第1支部	(有)二幸鍍金工業所	2年連続	第5支部	カツデン(株)
2年連続	〃	(株)サニー電化	2年連続	〃	(有)池澤鍍金工業所
1年	〃	新田興業(株)	2年連続	〃	チクマ(株)
7年連続	第2支部	(株)長沢製作所	2年連続	〃	(有)嶋田鍍金研究所
12年連続	第3支部	栄電子工業(株)	1年	〃	(株)安藤化成
4年連続	〃	押尾化学工業(有)	1年	〃	昭和ロール(株)
2年連続	〃	(有)川口製作所	15年連続	第6支部	(株)東工業
7年連続	第4支部	(有)吉田商店	3年連続	〃	仁科工業(株) B工場
29年連続	第5支部	(株)インワタ	13年連続	第7支部	(株)精硬クローム工業 第1工場
18年連続	〃	(有)小林鍍金工業所	8年連続	〃	(株)精硬クローム工業 第2工場
14年連続	〃	五光鍍金工業(有)	5年連続	〃	(有)堤北鍍金
12年連続	〃	双葉硬質クローム工業所	2年連続	〃	(有)共栄工業
4年連続	〃	(有)植木硬質クローム工業所	1年	〃	(株)明光社
4年連続	〃	朝日工業(株)	1年	〃	(有)坂寄鍍研精工

彩の国ビジネスアリーナ 2013

2013年1月30日・31日

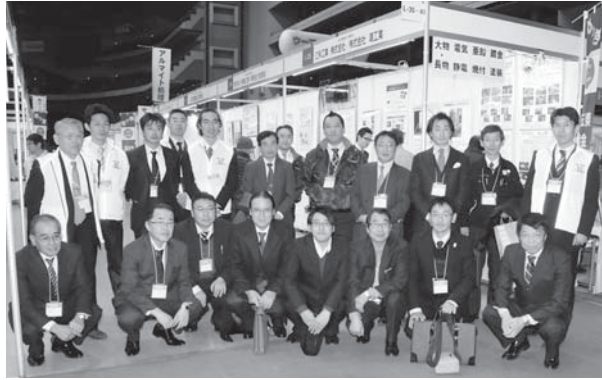
さいたまスーパーアリーナ

ルできました。

常連となった参加事業所さんは、かなり展示会というものに慣れたこともあり毎年その展示内容が進化しており、前日の準備日で各展示の全貌が現れると「すばらしい！ かつこいいい！ わかりやすい！」と驚いてしまう内容に、早くも来年の展示では負けてられないと感じてしまうほど皆さんが工夫を凝らした展示は目を見張るものがあります。今回初参加の事業者さんも負けておらず、映像で会社案内などを駆使して自社のアピール合戦となっていました。

この状況は、幹事として私が想像していた光景で、お客様にアピールするためには先ずは自分たちがいかにその中で目立ち、アピールできるかが重要で、各ブースから発信される魅力が10コマを

一昨年から3回目となった、組合からの呼びかけで展示会に出展を致しました。1回目、2回目と回を重ねるごとに出席事業者も増えてきて、今回は10コマを使用して15社に組合ブースを加えて賑やかに「埼玉県のめつき」をアピ



使用した「めつき広場」が魅力溢れる場になるはずだと考えていました。今回は会場の入り口から最前列にこの広場を確保できたこともあり、多くのお客様が立ち寄っていただくことができました。

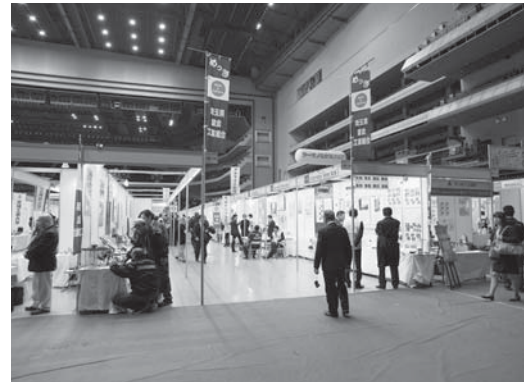
昨年もいくつかの事業者さんで新規のお客様が増えたとの報告もあり、弊社も県外ですが相模原のお客様から年間を通じてのお仕事をいただけるきっかけとなっています。今期もある事業者さんからは、「貴社の技術で、自分たちが考えている製品が作れないだろうか？」と相談があったようで今までになかった製品や新しい発想の製品ができるきっかけとなるかもしれません。後に「あの技術はビジネスアリーナから始まった」なんて話になると本当に夢のようです。

今回の展示会で、参加企業の方々とひとつの物を協力して作りたいたいという想いから「実物でのめつきサンプルボード」を作成しました。「装飾・機能」「防錆」「工業用」「アルマイト・研磨」と4つのグループに分けて品名とそのめつきができる会社がわかる





サンプルボードです。実際に触ることで潤滑性がわかるものなど、実物のサンプルで見比べることが出来るのは大変興味深く、「多くの会社・仲間が集まったからこそ！」の物となりました。お客様がじっくりと眺める姿を見るたびに、「めっき」という技術・産業をもっと深く知っていただきたいと感じ、参加したいと挑戦したいという事業者さんがいらっしやる限り頑張っていこうと感じています。



す。また来年も企画をする予定ですので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

技術委員長 饗場 功治

埼玉鍍金協会会長挨拶

渡辺 順一



してこの場を借りて厚くお礼申し上げますと共に、今年度もご迷惑をおかけするとは思いますが、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

昨年引き続きまして埼玉鍍金協会会長の重責をお預かりいたします。有限会社渡辺鍍金工業所の渡邊です。お陰様で無事に一年目を終える事が出来ました。これもひとえに埼玉鍍金協会をはじめ皆様の協力があったからこそです。心より感謝申し上げます。

また、仁科理事長をはじめ組合員の皆様におかれましては、埼玉鍍金の運営にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。今年度は、この変化の種が是非花を咲かせ実をつけて頂きたいと期待しております。昨年の総会の折、今年度の活動テーマ『絆、信頼できる仲間と共に新たな挑戦！』を私から発表しました。こ

の中の「絆」と「挑戦」のふたつの言葉について少しお話しさせて頂きたいと思います。

先の鍍金コンクルの理事長挨拶の中で、仁科理事長が、「成功」の反対は失敗ではない、チャレンジしない事だと申し上げておりました。正しくその通りだと思いません。失敗を怖れてチャレンジしなければ何も始まりません。当然、チャレンジしたからと言って行き成りの成功はないと思いますが、日々のコツコツした努力がやがて大きな成功へと繋がって行くものだと考えます。

皆様は1・01と0・99の法則と言うのはご存知でしょうか。1・01と0・99はたった0・02しか違わない。だがその違いを積み重ねていくと結果的に歴然とした差が出てくるのです。

関数電卓を使い1・01と0・99にそれぞれ365乗をしてみた結果以下のような結果になることが判った。

1.01^{×365}=37.7834343
0.99^{×365}=0.0255179645

1・01のほうは切り上げて38という結果。およそ38倍もの大きさになることが判った。逆に0・99のほうは切り上げて0・03となり、なんと元の数より小さくなってしまった。

とても不思議なことであるが日々の1%の努力が大きな成功へ繋がるし、逆にちよつとした手抜きが何も産み出さないし、無になつてしまうという事です。

何かチャレンジと言うと大仰に聞こえてしましますが、日々のちよつとした努力、例えば工場内の整理整頓や営業をいつもより1件多く回るなど、そんな小さな努力が実を結ぶのだと思います。

そして、もうひとつの「絆」と言う言葉は、東日本大震災をきっかけに言われてきた言葉です。人と人の繋がり、心や行動における深い繋がりを表しているのは皆様ご承知の通りだと思います。こ

の「絆」に「し」や「す」の送り仮名をつけると「ほだし(す)」と読みます。「絆し(す)」は馬

を繋ぎとめる馬具の意味もあり、自由を奪う、人の心や行動を制限すると意味があります。「情に絆されて」と言うように、情が深まり強く束縛されるというように手かせ足かせという意味合いが強くと、そこから離れる事の出来ない強い繋がりという意味が込められています。

「絆」と「絆し」一見意味合いが真逆のようでもありますが、「絆」は、ある程度の自由の縛りがなければ、生まれて来ないものではないでしょうか。恋人との関係、夫婦の関係、そして親子の関係などは正に「絆」と「絆し」の絶妙なバランスの上に成

立っているものだと思います。相手に喜んで貰おうと自分の事はさておいて行動する、人の気持ちになつて考える、全体の事を考えて何かをしようとする、こんな気持ち

ちが「絆」を深めて行くのだと思います。

確かに我々は商売上のお付き合いですが、ビジネスライクに行くよりも、もう少し「お節介」になつてもいいのではないのでしょうか。そこに「絆」が生まれ新たなビジネスチャンスにも繋がると思っています。このような苦しい時期だからこそ、せっかく知合った仲間と共に乗り越えて行ければ最高だと思えます。

最後に、埼鍍会という強い「絆」で結ばれた会員と共に頑張つて行く所存でございます。これから今まで同様、温かく見守つて頂きますようよろしくお願い申し上げます。

埼鍍会 会長 渡辺順一



編集後記

■ 訃報
 矢嶋 文江さん
 (株)島崎鍍金
 常務取締役 矢嶋 新一郎氏
 (現常任理事) ご母堂
 平成25年2月20日 逝去
 享年93歳

印刷
 保証企画工芸株式会社
 〒110-0012
 東京都台東区竜泉1-4-3
 TEL03(3875)1641



表紙の写真は、戸田市美女木にある、道満の荒川土手から見た満開の桜です。
 桜越しに見えるのは、武蔵浦和のビル群です

